

保存療法 注射やリハビリ

病院の実力「肩の病気」
医療機関別2021年治療実績
(読売新聞調べ)

医療機関名	新規患者数計 (人)	手術			保存療法実施状況
		総数 (件)	人工関節 置換術 (件)	関節 うちリハース型 (件)	
大阪府					
運動器ケアしまだ	1682	63	2	2	〇〇〇
いっしん整形外科	941	0	0	0	〇〇〇
近畿大	636	14	2	0	〇〇〇
大阪整形外科	582	144	2	2	〇〇〇
大阪赤十字	555	156	14	0	〇〇〇
行岡	455	52	0	0	〇〇〇
清恵会	445	79	20	17	〇〇〇
おおさかグローバル整形外科	417	124	7	7	〇〇〇
大阪大	350	30	3	1	〇〇〇
JCHO大阪	298	92	7	4	〇〇〇
済生会吹田	244	38	4	2	〇〇〇
大阪医科薬科大	234	66	7	5	〇〇〇
市立豊中	211	81	16	11	〇〇〇
こんどう整形外科ク	171	0	0	0	〇〇〇
守口敬仁会	143	34	11	11	〇〇〇
箕面市立	140	19	3	1	〇〇〇
谷川記念	94	30	2	1	〇〇〇

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「ク」はクリニック。

全国の調査結果は15日の「安心の設定」に掲載しました。

肩の病気

病院の 実力

*大阪編169

今回は「肩の病気」を取り上げる。多くは、加齢やけがが原因で起ころ。患者が多い「肩関節周囲炎」、「腱板断裂」、「変形性肩関節症」について、市立豊中病院(豊中市)の水野直子医長(整形外科)に治療法などを聞いた。

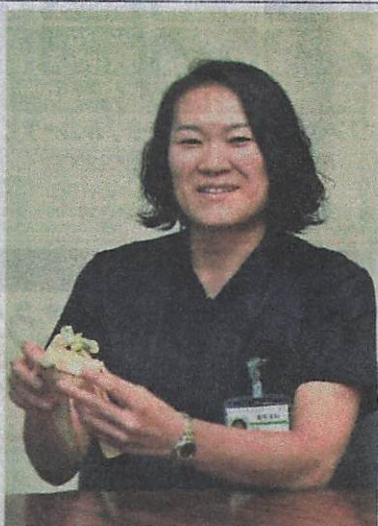
(松田俊輔)

市立豊中病院 水野直子医長

「どんな病気か。肩関節周囲炎は、肩関節内に炎症が起きます。「五十肩」などとも呼ばれ、加齢とともに関節を包む膜が硬く縮み、肩の動きが悪くなります。

腱板断裂では、加齢や転倒時の衝撃などが原因で肩を動かす腱が切れます。変形性肩関節症は、関節の軟骨がすり減ることによって起こります。

症状からの診断は難しく、画像検査が必要です。変形性肩関節症では、関節の軟骨がすり減っているの骨同士がくっついてきているのを診察方法は、



「肩の病気は生活の質にも大きく関わる」と話す水野医長(豊中市で)

で、レントゲン画像で診断できません。異常がなければ、MRI(磁気共鳴画像)や超音波で調べます。腱板断裂で腱が切れている場合は、この段階でわかりません。

「肩の病気」の多くは加齢やけがが原因で、痛みを招く。腕が上がらなくなれば、着替えや家事など日常の動作に支障を来す。強い痛みで眠れないこともある。

別部位疾患で痛み場合も

MRIの画像でも異常がないのに痛みなどの症状があるときは、肩関節周囲炎が疑われます。腕を動かせる範囲が、発症前と比べて徐々に狭くなったかや右手と左手で差があるかなどを調べて診断します。

調査は、日本肩関節学会の会員が所属する医療機関に実施。五十肩とも呼ばれる「肩関節周囲炎」、肩関節につながる板状の筋肉「腱板」が裂ける「腱板断裂」、肩関節の軟骨がすり減る「変形性肩関節症」のほか、脱臼を繰り返す「反復性肩関節脱臼」、しびれを招く「胸郭出口症候群」の五つの病気を対象に、2021年の新規患者数や手術数などを尋ねた。

治療の基本は保存療法だ。安静や薬で痛みを和らげ、肩の周囲に開けた数か月から1年程度が目安です。変形性肩関節症は保存療法に限界があり、手術するケースが多くなります。手術の場合は、

「JCHO」は地域医療機能推進機構、「ク」はクリニック。全国の調査結果は15日の「安心の設定」に掲載しました。

腱板断裂では、「関節鏡」という関節手術用の内視鏡を使います。全身麻酔をかきながら手術を行います。

変形性肩関節症では、患部を滑りが良い人工関節に置き換えるため、肩を関節部分まで切り開く手術が必要になります。

別の痛み原因は様々だ。頸椎など別の部位の病気が招くこともある。経験豊かな医師の問診や触診、画像検査が、正確な診断につながる。つらい症状が続く時は、肩を専門とする整形外科医を受診したい。